



2025.5.12 第4号

森田 博

竹に花が咲く！？
4年「ヘチマの発芽」



120年ぶりに竹の花が咲く!?

嬉しいお便りがありました。ときどき、「先生！〇〇見つけたよ！」「家で〇〇飼ってるよ！」などと、生き物の話を、廊下でしてくれる児童がいます。この5年間、ずっと理科の授業を続けてきて、理科の話をしてくれる児童が本当に増えました。「〇〇がいたから理科室で飼ってください！」という声もありましたね。

最近になっては、「家の近くの川にスッポンがいました！」と言ってタブレットで動画を撮影し、私に見せてくれました。本当に大きなスッポンで驚きました。理科クラブで見つけたときのスッポンに続いて2匹目の報告。こうした情報を、私に見せたいと思ってくれたことが嬉しかったですし、自然に対する興味関心への高まりを感じます。



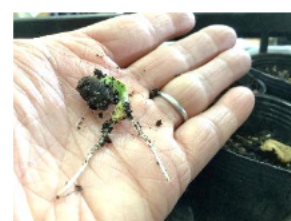
さらに、驚いたことには、4年生の授業を終えた私に、「先生！竹の花！！」と嬉しそうに持って来て見せてくれた児童がいました。ジップ袋に入れて、私にくれました。そうです。今年は、竹の花が咲いたのです。このことは、ちらっと私の耳にも入っていました。「おお！これはすごい！確か何十年に1回じゃなかった？」と聞くと、「120年やで！」と教えてくれました。「ハチク（破竹）は120年で、モウソウ（孟宗竹）は60年！」とさらに詳しいことを調べていました。「竹の花が咲いた後は枯れてしまう。」ということも聞きました。そこで、私も調べました。（←左の写真が実際にくれた竹の花。）

実際に、1902年から1908年にかけて全国でハチクが枯れた記録があるそうです。そのため、次の開花は、2020年過ぎと予想されていたそうです。予想通り開花と枯れる現状が現在発生しています。次の開花は、なんと、、、2140年！？すごい未来ですね。しかし、今こうして竹の花が見られる時代に生きていることがまさに奇跡です。ちなみに、マダケ（真竹）は、1960年に記録があり、次回は2080年ごろと言われてます。あと55年後。私は97歳。



https://www.yamanashibank.co.jp/fuji_note/fuji/take-hana.html

ヘチマの子葉が出ました。



なかなか発芽しないヘチマ。4月21日に種まきをして18日目にしてようやく発芽。さらに一番先に発芽したヘチマは子葉がピン！と開いていました。まだまだ植え替えは先で、葉が4枚になればという話をしました。観察の視点として、発芽は種から何が先に出ると思いますか？と問いを投げかけ、その時期を待ちました。3年生で、植物のつくりとして「根、くき、葉」を知っていますので、予想してから観察しました。発芽したてのヘチマを抜いてみると、子葉が開く前に長い根っこが2本伸びていました。正解は、根！！